

株式会社西武ホールディングスが発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 柳沢祥二、以下「当組合」）は、このたび、株式会社西武ホールディングス（以下「本法人」）が発行する第4回無担保社債（グリーンボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2019年12月12日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本法人は、本債券の資金使途として、新型特急車両「Laview（ラビュー）」および新型通勤車両「40000系」導入費用、「西武武山ソーラーパワーステーション」の建設費用のリファイナンスに充当予定であります。新型特急車両「Laview（ラビュー）」および新型通勤車両「40000系」はクリーンな運輸サービスを実現するものであり、「西武武山ソーラーパワーステーション」は遊休地を活用した太陽光発電所の建設を目指すものであります。

本債券につきましては、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、「JCRグリーンボンド評価」の最上位評価である「Green1」の予備評価を取得しております。環境改善効果が見込まれる「クリーン輸送」及び「クリーンな運輸に関する事業」、「再生可能エネルギー」のアセットを資金使途とし、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2018」および環境省の「グリーンボンドガイドライン 2017年版」に該当する旨の評価を得ております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上